

株式会社 東宝映画

メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科

4年 鳥元 香那

1. 実習企業（団体）の概要

1971年11月東宝株式会社撮影所製作部、および企画部が中心となり設立された映画の製作プロダクション。東宝株式会社の前身である「P.C.L映画製作所」が現在の東宝スタジオ（世田谷区成城）で映画製作を開始して以来、その歴史と伝統を受け継ぎ、設立から39年間で160本を超える作品を製作し、幾多の名作・ヒット作を生み出してきた。昨今、メディアの進化と多様化、インターネットの高速化が進み、生活の中での「映像」のあり方や楽しみ方自体が大きく変容する中、より外に開かれた製作会社を目指している。

- ・設立 1971年11月8日
- ・資本金 1億円
- ・従業員数 25人
- ・所在地 東京都世田谷区成城 1-4-1
- ・取締役 佐藤 毅

2. 実習内容

映画「青空エール」の制作スタッフとして働くインターンシップ。スタジオ内でのセット撮影、野球場でのロケ撮影においてエキストラの方の誘導やお弁当配り、体調が悪い人のケア等。

3. 実習の成果

映画制作に携わらせていただき、普段絶対に経験できないようなことばかりでした。最初の音楽室のシーンの撮影では右も左もわからず戸惑うこともたくさんありましたが、現場体験をさせていただく中で1日の流れを把握し、『今何時だからそろそろお弁当が届くだろう。だからその前にこれをやろう』だったり、様々なタイミングを見計らって動き、1つ1つを素早く終わらせ、先のことを考えながら無駄なく動くということを学びました。その結果、エキストラの方がたくさん来る野球場での撮影では他の大学から来たインターンの人たちに指示をすることを任されたり、一段階上のことをやらせていただけたりと、スタッフの方からも信頼していただけるようになりました。終わるころには「この数日間ですごく成長したね」とたくさんスタッフの方に言っていただけるようになり、打ち上げにも呼んでいただき、とても貴重な経験をさせていただいたと思います。

4. 実習の感想

早朝から夜遅くまでの撮影だったので本当に大変でしたが、このインターンをやったと心から思っています。分からなかったことが分かるようになる喜びも大きく、たくさんスタッフの方とお話をさせていただくことが非常に多かったのも、いろいろな作品の裏話から業界のことまで幅広く聞くことができとても勉強になりました。撮影中出演者の方ともお話させていただく機会があり、これもこういう仕事をしていないと経験できないことなので、よい経験になりました。また、打ち上げにも参加でき、本当に普段経験できないことをたくさん経験させていただきました。打ち上げでたくさんの方々の想いを聞き、撮影が終わったから終わりではなくて、編集があったり宣伝があったり、見てくださる方に届くまでが制作であるということをとっても感じ、予告が出来上がった時はとても感動し、ニュースや様々な番組に出演者の方が出ている姿を見ると、この映画に携わってよかったと感じました。今後、忘れることのない貴重な経験になりました。

日数	実習日	実習内容
1日目	5月2日(月)	打ち合わせ、現場体験
2日目	5月3日(火)	お弁当配置、ごみ袋回収設置等
3日目	5月6日(金)	お弁当配置、ごみ袋回収設置等
4日目	5月7日(土)	エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋回収設置等
5日目	5月8日(日)	現場準備、ロケバスの誘導、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋回収設置等
6日目	5月14日(土)	ロケバスの誘導、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋回収設置等
7日目	5月15日(日)	ロケバスの誘導、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋回収設置等
8日目	5月21日(土)	エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋回収設置、撤収作業等